

高齢者の交通安全ワンポイントアドバイス



いつまでも、いきいきと安全な毎日を！



【目】の調子はいかがですか？

視力が低下したり…視野が狭くなったり…

防止ポイント

● 「右・左・右」と安全確認！

- 道路を渡ろうとするとき、
「車が遠くに見えてるから、まだ大丈夫」と、思っているとあっという間に近づいてきます。
また、自分の存在に気付いていないかもしれないという気持ちを持って、行動しましょう。
- 車で交差点に進入するときは、体全体を使って周りの安全を確かめましょう。



【耳】の調子はいかがですか？

車のエンジン音に気づかない…

音が聞き取れなくなる…

防止ポイント

● 「耳」でも交通状況を察知！

- エンジン音の聞こえにくい
ハイブリッド車・電気自動車
があります。
そのため、近づいてくる車に気が付くのが遅れることがあるので気を付けましょう。
- ラジオなどの音量は適度大きさにして、周囲の音をしっかりと聞き取りましょう。

お身体の調子は、いかがですか？

【脚力】の変化を感じていませんか？

脚力が弱くなった…

時々よろけることがある…



防止ポイント

● 「脚力」は交通安全の第一歩！

- 以前の自分に比べて歩幅が狭くなったり歩く速度が遅くなっているかもしれません。信号機のある横断歩道では、青色信号から点滅信号に変わるまでの時間に余裕を持って渡りましょう。
- 車を運転される方は、ブレーキを踏む力が弱くなっているかもしれません。ブレーキを踏み込んだ時に膝が伸び切らず、少し余裕がある位置に座席を調整しましょう。

【身体】の調子はいかがですか？

「最近、なんか前と違うな…」と

思うことがある

防止ポイント

● 「身体」の変化を理解して交通安全につなげよう！

- 加齢による心身の変化と共に交通安全で注意すべきことも変化します。自身の運転に不安がある場合は、運転免許センターなどにある安全運転相談窓口へご相談を！

全国统一専用相談ダイヤル

(ハレハレ)



8080

高齢者の交通安全ワンポイントアドバイス

注意!

県内の交通死亡者11人のうち高齢者は6人

(令和5年5月末現在)



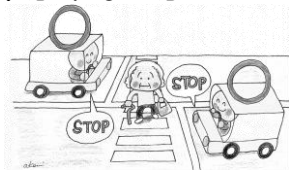
約55%が…

半数が高齢者が関係する交通死亡事故

高齢者の交通事故の特徴

● 道路横断中の事故が多発!

- 道路を横断するときは、車が来ないか右、左、右、遠くまでしっかりと安全を確認して渡りましょう。
- 渡り始める前だけではなく、横断中も左右を確認しましょう。特に、左側から来る車に注意しましょう。



【なれた道】こそ要注意!

めったに車はこない…この道は大丈夫…

防止ポイント

● 「思い込み」は注意!

自宅近くで交通事故が多く発生しています。慣れた道は、「いつも、この曲がり角は、人がこない」「この交差点、自動車は通らない」と思い込んでいませんか。そんなときに限って人や車が通ったりします。通るかも? 来てるかも? という気持ちを持ちましょう。

乗りなれた自転車こそ、ルールをご存知ですか?

自転車の交通事故の特徴は、「出会い頭」の事故が多い。



防止ポイント

● 自転車乗るならヘルメット!

令和5年4月から、道路交通法の改正により、全ての自転車利用者に自転車用ヘルメットの着用が努力義務化されました。

ヘルメットを着用していないと…

ヘルメット着用状況の致死率

約2.2倍

着用 未着用



防止ポイント

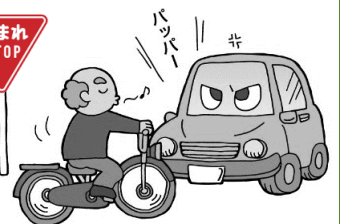
● 交差点では安全確認

交差点は、自転車事故が発生する危険性が特に高い場所です。

一時停止標識の有無にかかわらず、交差点では必ず左右の安全確認をしましょう。

慣れた場所ほど、

油断大敵!



奈良県警察